

大船渡港津波・高潮防災ステーション運用開始

～津波災害から国土を守る～

大船渡地方振興局土木部

県では、大船渡港において、津波・高潮等の災害に強いまちづくりを推進しており、その一環として水門及び陸閘の開閉操作を一元的に管理する「津波・高潮防災ステーション」の運用を平成20年3月から開始しました。

従来、津波注意報・警報発令に伴う水門・陸閘の閉鎖操作は、主に地元消防団員が現地に行き操作を行っていましたが、津波が襲ってくるなかでの操作は、危険と隣あわせの作業です。このため、津波・高潮防災ステーションでは、水門・陸閘を遠隔で操作することで、消防団員の安全を確保し、さらに津波注意報や警報発令に伴う速やかな閉鎖操作が可能となります。

大船渡港の津波・高潮防災ステーションで操作できる水門・陸閘は、大船渡港地区でも大型の水門や交通量の多い陸閘が対象となっており、平成20年度までに陸閘3門、水門3門の遠隔化整備が完了しました。

将来は、陸閘4門、水門1門を追加し、合計で11箇所の水門・陸閘の遠隔監視制御を行う予定です。

大船渡港全体写真



津波・高潮防災ステーションの概要

- ① 防災ステーション (平成20年度完成)
(場所) 大船渡消防署構内
(操作者) 大船渡消防署員
(通信方法) 光ファイバーと無線回線を使用
- ② 茶屋前地区 (平成20年度完成)
(対象門扉) 陸閘3門、水門1門
- ③ 永浜地区 (平成20年度完成)
(対象門扉) 水門1門
- ④ 清水地区 (平成20年度完成)
(対象門扉) 水門1門
- ⑤ 野々田地区 (平成21年度完成予定)
(対象門扉) 水門1門
- ⑥ 魚市場地区 (平成25年度完成予定)
(対象門扉) 陸閘4門

システムを使った操作訓練



遠隔で操作する陸閘

